

科目名	「教養の森」ゼミナール(外書講読2)		
担当教員	兵頭 俊樹		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名(英語表記)	Liberal Arts Seminar Course(Reading in Foreign Languages 2)		
授業の概要・ねらい	世界史に登場する様々な人物のエピソードをちりばめた読み物風の『若い読者のための世界史』(E.H.ゴンブリッチ著・中公文庫)のドイツ語原文を英訳・仏訳を併用して読むことを中心とする。		
授業計画	初めのうちは1回の授業でテキストの半頁ほど、前期の終わりには1-2頁を読むことを目標とする。語学に関しては構文理解のポイントをつかみ、文法の復習を兼ねる。また適宜語彙の由来を歴史的に遡り、できる限り英語の語彙と関連づけながら多くの語彙の習得を目指す。歴史に関しては、若い読者を想定して有名なエピソードをちりばめた80年前に書かれたテキストを中心に、新刊のベストセラーを補足的に使用する。授業はもっぱら講読・演習形式をとるが、リスニングについては各自の自主的な復習に委ねる部分が多くなるだろう。半年間の授業では、人類の誕生から戦後までをカバーするテキストの一部分しか読むことはできない。歴史のどの部分を切り取って読むかは、参加者の興味と関心を優先して初回の授業で決定する。場合によっては各章のほんの一部をアカルティックに読むことも可能かもしれない。授業計画の作成要領との関係もあり、以下に古代の部分の章・段のタイトルをいくつか抜き出して参考とする。1. ナイル川のほとり 2. メソポタミア 3. モーセとエジプト脱出 4. シュリーマンの発掘 5. マラ톤の戦い 6. デルフォイの神託 7. 王子ゴータマ 8. 孔子と儒教 9. アレクサンドロス大王 10. ローマと建国伝説 11. 万里の長城 12. 山上の教え 13. 帝政のローマ。どの箇所を読むかは受講生と相談して決定する予定だが、シラバス作成時点では古代史の部分をもっと限定すれば古代ローマの建国伝説からハンニバル戦争(ポエニ戦争)あたりはどうかと考えている。		
到達目標	高校の世界史プラスアルファ程度の内容を、ドイツ語と英語を中心に構文理解に重点を置いて理解することを目標とする。		
成績評価の方法	平常点90% レポート10%		
教科書	E.H.Gombrich: Eine kurze Geschichte für junge Leser. E.H.Gombrich: A Little History of the World. E.H.Gombrich: Brève Histoire du Monde. E.H.ゴンブリッチ『若い読者のための世界史』(中公文庫)		
参考書・参考文献	ユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史』(河出書房新社)(Y.N.Harari: Eine kurze Geschichte der Menschheit; Sapiens. A Brief History of Humankind; Brève Histoire de l'Humanité) Andrew Marr: A History of the World (BBC). DVDも。またDVDはほぼ同内容でD.Moor: Geschichte der Menschheitも。		
履修上の注意・メッセージ	いずれかの欧文テキストを予習。授業は講読・演習。復習として朗読テキストのリスニング。		
履修する上で必要な事項	辞書と首っ引きで読むことができること。		
受講を推奨する関連科目	ヨーロッパ諸言語概説		
授業時間外学修についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。		
その他連絡事項	なし		